

データで見る兵教生

～「平成29年度大学概要」から検証～ 附属図書館の利用状況

**教育分野の蔵書が充実
利用目的も多様化の傾向に**

図書館の蔵書36万冊のうち、3割を教育分野が占めている。一般図書のほか、教科書・指導書など教育大学ならではの貴重な資料を整備しており、利用率も高い。

兵教大の図書館は国立教育系大学の中で最も開館時間が長く、平日は22時まで、また授業休業期を含め土曜、日曜、祝日も開館しており、多くの学生が昼夜を問わず自学自習に励んでいる。近年は静かに本を読むだけの場所ではなく、グループ学習やゼミ、インターネット利用など多目的な空間になってきている。図書館は敷居が高いと敬遠している学生にも、ぜひ気軽に足を運んでもらいたい。



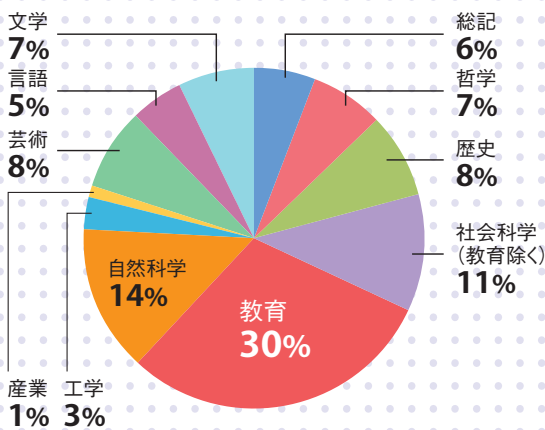
なすかわともこ
名須川知子
附属図書館長

**本を開けば
世界が広がります**

教員養成系大学・大学院の図書館として、幅広いジャンルと、特に教育に関する専門書がそろっています。中には本学にしかない貴重な教育叢書も含まれています。また、インターネットであらゆる本の検索が可能です。本は手に取ってページを開けられ、活用されて初めて意味のあるものとなります。ぜひ、興味関心のある本を手にとって開いてみてください。図書館に居ながらにして、新しい世界が広がっていくことでしょう。

HYOKYO'S DATA

蔵書の主題別割合



開館日数と年間入館者数

開館日数	340日
入館者数	11万5,281人

**豊富な専門書は
研究に役立っています**



みやうちしゅんすけ
宮内俊輔さん
修士課程
社会系教育コース1年

来日してから3年間、附属図書館に通い続けました。朝8時半に開館し、空いた時間にいつでも勉強できる居心地の良い空間です。特に、1階のラーニングcommons PAOは思いがけず友達と出会うことも多く、驚きや楽しみに満ちています。図書館のスタッフさんは、いつも声をかけてくれたり、一人では解決できない問題に優しく対応したりしてくれ、温かい雰囲気をつくり味わっています。残りわずかの留学生活ですが、引き続き利用したいと思っています。

**いつでも
勉強できる
居心地の良い
空間です**

附属図書館の特色は何と言っても教科書・指導書の多さです。個人では入手し難いもので、授業づくりには欠かせません。また、教育に関する専門書も豊富で、卒業論文や修士論文の執筆の助けになっています。さらに、所蔵されていない図書も購入を依頼でき、その図書を優先的に読むことができる学生希望図書制度というありがたい制度もあります。これからも図書館を活用して研究に励みたいと思います。

りぎょうかん
李 晓歡さん(中国)
修士課程
教育コミュニケーションコース2年

